

ニイザ 213ささえあい隊NEWS

第5号発行：平成30年10月

第3回生活支援体制整備事業勉強会を平成30年8月に新座市内6圏域で開催しました。以下に、開催日順に内容や当日の様子についてご報告させていただきます。

8月3日(金) 10:00~12:00

北部第一圏域

東ふれあいの家



第3回の勉強会は、前回の勉強会で参加者のみなさまからご要望いただいた、他自治体の協議体に関する事例の紹介をコーディネーターから行いました。また、第1回目から参加されていた方から「協議体に関するご自身の理解と今後への提案」をみなさまにお伝えいただきました。その提案に関して参加者のみなさまと協議しました。

冒頭ではアイスブレイクとして、1人1分程度で自己紹介を行いました。その後第1回目からご参加されている方から、「協議体に関するご自身の理解と今後への提案」についてみなさまにご説明していただきました。説明の後、参加者のみなさまに全員に意見や質問を出していただきました。今回が初参加の方もおられましたが、参加回数を重ねておられる方は、ご自身のお考えをご自身のお言葉で語ってくださいました。以下はその一部です。

- ・自分が元気であることを自負して、周りの助けを拒む方が多い。この場合の解決策が見当たらない。
- ・民生委員は住民に対し、一番触れ合うことができ、地域に声を伝えられる立場だと思う。
- ・高齢者や障がいがある人、子どもを含め地域住民全体を繋げていけると良い。

参加者から、「みなさんが考えるそれぞれの地域の課題があり、それを解決に向けみんなで考えていくことが協議体の目的だから、次回の協議体で自分が考える地域の課題の一つとして提案をして下さい」という意見もでました。

次回の協議体では、今回の話し合いの内容を踏まえ、「KJ法を用いて、それぞれが考える地域の課題や問題点を整理してみよう」ということになりました。

今回の勉強会では、参加者のみなさまに概ね協議体についてご理解をいただけたように感じました。また、参加者から、北部第一圏域で協議体を発足させ、活動しようという提案がなされ、「北部第一地区協議体」のとして活動していくことが決まりました。

※開催日は定例となります。毎月第一水曜の午前10時~12時 場所:東ふれあいの家
(開催日が祝祭日の場合も開催いたします。)

※平成31年1月においては第2水曜日が開催日となります。

8月22日(水) 14:00~16:00

南部圏域

堀ノ内集会所



今回が初めての方にもご参加いただき、14名で第3回目勉強会を実施することができました。

前回第2回目の勉強会にて、南部地区地域福祉推進協議会(南部福進協)の活動等を知りたいというご要望があり、南部福進協会長にご協力いただき、南部福進協の活動やこれまでの歴史なども含めてお話いただきました。参加された方からは、「聞くことが出来てよかった」と好評でした。

第1回目の勉強会から協議体の役割についてお伝えさせていただいておりましたが、福進協が担ってきている活動のイメージとは少し異なっていることについて改めてお伝えもさせていただきました。そのことについて、福進協と協議体の線引きはうやむやでまだよく分からないというご意見もいただきました。参加された方の中でも、協議体のイメージが出来てきている方や、全くイメージがつかない方もいますが、協議体について、そして地域についてみなさんの熱い思いが伝わる勉強会となりました。「今後どのように協議体としてやっていけばいいのか」についてはみなさんと一緒に考えていきたいというご感想もいただいています。

第4回目に関しては、協議体の運営について、ご参加いただけるみなさまと一緒に考えていくこととなりました。

8月23日(木) 10:00~12:00

東部第二圏域

畑中公民館



第3回勉強会では、参加者18名が第1層コーディネーターや福祉政策課職員とともに協議を行いました。

自己紹介の後、第2回勉強会の振り返りを行いました。第2回勉強会がきっかけで、参加者の方が中心となり新たな「憩いの場」を創る話しが進んでおり、憩いの場を作ろうと思った方から、そう思ったきっかけやどのような憩いの場にしていきたいかの思いを話していただきました。

そのこともふまえながら、第2回勉強会の討議に続き、「憩いの場の確保」「(地域の活動等に)出てこない人をどうしていくか」等について話し合いました。

その中で、集会所で誰でも集まれる日があるとよいという意見が出ました。それを受けて、「誰かが主体となって管理責任を持つ必要がある」「月に1回開催することは回数的にできると思うが、毎月やるとなるとグループが出来ないと難しいと思う」というような意見も出ました。みなさま真剣に討議をしておりますが、どこか穏やかな雰囲気がありました。

参加者全員に意見を求め、他の方の意見を聞いた感想や、地域においてされているそれぞれの活動の中での困りごと等の意見も出て活発な討議となりました。

次回は「協議体設立に向けての準備会」として、協議体の名称や開催日時等を話し合い、その後「地域資源を考える」として白地図に自分の知っている資源(活動等)を付箋に書いて地図に貼っていくこととなりました。

8月27日(月) 9:30~11:30

西部圏域

社協大会議室



今回から初めて参加される方も含めて、9名で開催しました。

3回目の勉強会ということもあり、協議のなかで知らない言葉ができれば、参加者同士でどのような意味なのか説明がなされたり、地域福祉推進協議会(福進協)の勉強会と思われて参加された方に対しては、今までに勉強会に参加されている方が「福進協とは違う集まりである」と説明される場面がありました。勉強会の回数を重ね、今後に向けてより前向きに話し合いができたのではないかと感じています。

「協議体で話し合うものは、どんなテーマにするか市の方で決めてほしい」、「市が協議体を立ち上げるのか?」といった住民主体という形に疑問が残る参加者もいましたが、「まずはやってみよう」というご意見もあり、次回からは「協議体」として動き出すこととなりました。

次回からは通勤・通学路に関する地域の見守り活動や、防犯に関する活動等についてと担い手問題に関して、情報を持ち寄り話し合いを行います。

8月28日(月) 14:00~16:00

東部第一圏域

中央公民館



今回が初参加となる方も含めて7名の方にご参加いただきました。今回は「協議体に期待すること」について参加者からお話をお聞かせいただきました。以下はその一部です。

- この地域に住んでいて良かったな!と思える活動にしたい
- 声をかけ合えること、人とつながりあえる地域になるような取組みにしたい
- 出来ることから問題や困りごとを解決していくのはどうか?
- 地域の支え合いの仕組みを効率的かつ現実的に作っていけるように、参加されている方と一緒に考えていきたい。

参加してくださっている皆様が、前向きな思いを抱かれていますことがわかりました。

後に、東部第一地区の地域資源、集いの場、公園、空き家等の情報を全員で共有するために、白地図を利用し情報を出し合いました。地域における様々な情報から今実際に地域が抱えている困りごとの話へと発展していき、活発な話し合いができました。

今回は、「協議体設立に向けての準備会」として、今後の運営方法等検討をする予定です。また、協議体始動にあたり、協議体の愛称も検討することになりました。

8月30日(木) 14:00~16:00

北部第二圏域

大和田公民館



会の冒頭で、「高齢者が外出を控える理由」というテーマで簡単なクイズを行いました。参加者に三人一組となり考えていただいたことで、緊張感があつた参加者の雰囲気も和らいだ印象を受けました。また、みなさまの自己紹介の中で、「自分に何かできることはないか」と考えて参加されている方が多く、意識の高さが伺えました。

協議体に期待することとして、「個人で解決するには難しい身近な課題を話し合いたい」という意見が多く出されました。協議体に参加している事業所の方からは、「事業所同士のネットワーク作りや、福祉法人としてどのように社会貢献が出来るかを考える上で、住民の方が何を求めているかを知りたい」という意見が出されました。

参加者の方の協議体に対する理解は、「概ね理解されている」という印象を受けていますが、「まだ良く分からない」との意見もあります。そのようななかで、協議体の理解を深めるためにも、ひとまず次回からは支え合いの仕組みにむけて、地域の課題に関して話し合ってみようということになりました。

参加者へ協議体で「どんなことを話し合いたいですか」といったアンケートをとったところ、高齢者の困りごとだけでなく、子育て世代との交流をはじめ、事業所として何が出来るか話し合いたいなど、幅広い意見が出されました。その中でも、「協議体を地域にもっと広める必要がある」といった意見が多かったため、今回は協議体周知の方法についても検討をしていきたいと考えています。



問合せ

新座市役所 本庁舎2階 福祉政策課 生活支援コーディネーター

TEL:048-424-4693 FAX:048-482-5221